

陳 情 文 書 表 (令和7年3月27日定例会提出)

陳情第50号

佐保小学校新校舎建設事業並びに佐保小学校校舎改築その他工事の工事請負契約の締結案
に対する陳情

令和7年3月25日受理

陳情者



川 崎 絵里奈 外3名

私たちの声をないがしろにしないでください。しっかり聞いて、請願の趣旨を正しく理解
してください。

(陳情の趣旨)

現・佐保小学校の場所に建設予定である新小学校校舎の建設事業予算約51億円が、今
まさに可決されようとしています。私たちは、提出された今回のこの予算そのものにま
ず強い疑念があります。令和5年度3月議会で可決された予算約51億円と、今回可決さ
れようとしている約51億円は、中身(内訳)が全く違うからです。今回の予算にはプー
ルやバンビーホームの建設費用、及び現校舎の解体費用の一部が含まれていないこと、そ
して、新校舎を完成させるために足りない分の予算は来年度に追加で提案するもくろみで
あることなど、このようなずさんな予算の通し方に我々市民は大変強い危機感を抱いてい
ます。

また、解体工事が行われる現校舎に、アスベストが含まれていることなども判明してお
り、児童はもちろん近隣の地域住民の生命や身体が、約5年～6年にわたる予定の工事期
間の間、継続して極めて重大な危険にさらされる可能性があります。本来であれば慎重
かつ厳重に取り扱われるべき工事の施工内容に関しても、国庫支出金の使用期限に合わせ
た拙速すぎる建設スケジュールが組まれている現状では、しかるべき対処が満足に行われ
るとは到底思えません。

また、先立って私たち保護者や児童が提出した請願書も市議会にて引き続き審査中です
が、地域との合意形成もいまだなされているとは言い難い状況であり、十分な意見交換や
話し合いをもって学校規模適正化計画の内容の見直しや計画自体を再作成する等の機会が設
けられることなしには、佐保小学校と鼓阪小学校の統廃合は行えないはずで。

以上のような理由から、私たちは、奈良市及び奈良市教育委員会に対し、本事業の執行
に当たって請願の趣旨を理解した上で適切に措置を講ずるように強く求めます。